

# 東建パブリニユース

平成30年9月7日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年9月4日 毎日新聞 P.22

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

## 「村正」30振り 一堂に



企画展の会期中、刀剣男士「千子村正」のパネルも展示される

桑名を拠点に活躍した刀鍛冶「村正」の日本刀を一堂に集めた企画展「村正2」が、10月6日から11月25日まで三重県桑名市京町の同市博物館で開催される。2年前に初めて企画した時は全国の刀剣ファンら約1万5000人が駆け付け、同館の入館者数の記録を大幅に塗り替えた。「もう一度見たい」との声に響いて開く今回は村正で唯一、重要美術品



に指定されている名刀なども公開され、再び刀剣ファンの熱い視線を集めそうだ。村正は室町から江戸初期にかけて、数代にわたって活動したといわれる。徳川家康が嫌ったとされる「妖刀伝説」も残り、刀剣ファンの間で高い知名度を誇る。

今回は刀剣計45振りを出品。このうち村正は前回より約10振り多い30振りを展示する予定。特に注目されるのが、重要美術品の「妙法村正」。刀に村正の銘と共に「妙法蓮華經」と刻まれ、佐賀の小城鍋島家で代々受け継が

## 三重・桑名市博物館で企画展

### 刀剣男士「千子村正」パネルも

れてきた伝家の宝刀だ。国内では15年ぶり、桑名では初公開となる。

前回は、刀剣の名前を持つ美男子キャラクターが登場する人気ゲーム「刀剣乱舞」の影響を受け、若い女性たちが大勢足を運んだのも特徴だった。余勢を駆って今回は人気ゲームとコラボレーションし、会期中、刀剣男士の一人「千子村正」の等身大パネル（高さ2・1メートル）を同館の入り口に展示する。

多くの刀剣を所蔵する、賃貸住宅建設・仲介大手の東建コーポレーション（名古屋）の協力を得て、山城（京都）など五つの主産地の作風「五箇伝」が分かる刀剣も紹介する。入館料1000円（中学生以下は無料）。10月13、24日と11月11日に展示解説がある。問い合わせは市博物館（0594・21・3171）。

【松本直良】

以上